

大久野島ビジターセンター便り

Vol.67 (H25.2.11)

節分も終わり、暦の上では春が来ましたが寒さ厳しい日が続いていますね。

大久野島では先日、2005年以來となる雪景色になりました。ちらちらと舞ったり、うっすらと積もる年は年に数回ありますが、たくさん積もることは滅多にないのでとても新鮮な景色でした。この日はみぞれから雨に変わり、午後には日差しが出て暖かくなったので、夕方にはすっかりと溶けてしまいました。寒い1日でしたが、もう少し雪景色を楽しみたかったです！

今回は、雪景色の大久野島の様子をみなさんにご紹介いたします。

雪が積もりました



【ビジターセンター付近の様子】

島の平地で2センチぐらい積もっていました。上陸した時にはみぞれに変わっていたので、足元の雪はだんだんと溶け始めてきています。



【展望台の様子】

標高約100mの展望台は、7センチぐらい積もっていました。向かいの小久野島は、うっすらと雪が積もる程度です。



【アナウサギの足跡】

島に野生化して暮らす、アナウサギの足跡です。後脚(足跡の長いほう)から前脚までの距離があいているので、飛び跳ねながら進んでいる様子がよくわかります。



【ヒサカキの枝をかじるアナウサギ】

雪の重みで垂れ下がったヒサカキをかじり、枝を食べていました。(葉も少しは食べるようですが、たくさん地面に散っていました)厳しい自然の中でたくましく生きている様子がよく伺えます。

枯れ葉そっくり

外の掃除をしていると、とてもおもしろい生き物に出会いました。枯れ葉によく似ているこの生き物、「アケビコノハ」というガの一種だそうです。擬態(=ぎたい 攻撃や自衛などのために、からだの色や形などを周囲の物や植物・動物に似せること)することで、小鳥たちに見つからないように、厳しい自然の中で生き抜いています。島をじっくりと探したら、出会えるかもしれませんね！



【アケビコノハ(2014.2.11 撮影)】

幼虫の時に食べる草がアケビ科で、木の葉っぱにそっくりなことに由来しています。葉脈らしい柄もあり、枯れ葉そっくりです。



【威嚇の様子(2014.2.11 撮影)】

じっとして動かないのですが、強く触ると羽をひろげて威嚇します。小鳥に襲われそうな時などは、黒い目玉をみせて驚かすようです。



どこにいるかな？
探してみてね！

大久野島ビジターセンター便り vol. 67 H26. 2. 11 発行
発行・編集：大久野島ビジターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日(1-2月は水・木)
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場